

宮若市立図書館



所在地：福岡県宮若市宮田6番地1
 延床面積：約3,180.33㎡
 構造・規模：RC造一部S造、2階建
 設計：株式会社藤城総合計画
 施工：建築・坂平・宮田土木・宗松特定建設工事共同企業体
 電気/四電工・藤城電気特定建設工事共同企業体
 オープン：平成24年3月

S158

平成18年に合併で誕生した宮若市では「青少年育成ゾーン」の整備を進めており、このほど図書館を核とする生涯学習拠点施設「宮若リコリス」が完成。図書館には、LEDをはじめとした省エネ照明器具が採用され、CO₂排出量を削減しています。

人づくり・まちづくりを進める宮若市の生涯学習拠点施設

平成18年に旧宮田町と旧若宮町が合併して誕生した福岡県宮若市は、福岡市と北九州市のほぼ中間に位置しています。同市では、市域の中心部を文化の拠点、東西をスポーツの拠点として青少年育成ゾーンの整備を進めています。この青少年育成ゾーンの一部を担う施設として、市の花であるヒガンバナの学名を冠した、図書館を核とする生涯学習拠点施設「宮若リコリス」が完成しました。

蔵書規模約8万冊を有する図書館は、ネオセラ高天井用器具を中心に採用し、照明の質を高めつつ、省エネ・省メンテを図っています。



図書室のベース照明は傾斜天井に円筒状のトップライトを設け、その内部にネオセラ高天井用反射器具を採用

照明の質を高めつつ省エネを実現。加えて電動昇降装置で保守性も向上

図書館内部へ自然光を採り込むため、広い面積のカーテンウォールが採用されており、さらにダイナミックな傾斜天井としたその天井には、随所に円筒状のトップライトが設けられています。照明はトップライトの内部に照明の質を高めて省エネを実現する360Wセラミックメタルハライドランプ(ネオセラ)高天井用反射器具を、傾斜天井の高い位置には3台、低い位置には2台設置して光バランスを調整し、読んだり、書いたり、調べたりする閲覧コーナーとして最適な視環境を確保するとともに、書架の背文字も見やすく、書物を選びやすい十分な鉛直面照度が得られています。高天井用反射器具には電動昇降装置が設置され、長寿命なランプの採用とともに保守性の向上も配慮された計画となっています。

図書館中央部の「くつろぎの環」には、全体照明のネオセラ高天井用反射器具のほかに、電球形蛍光灯ランプのペンダントライトが設けられており、子供たちにも親しめ、楽しめる快適な雰囲気を出しています。

児童の「おはなしのへや」は、閲覧コーナーとはカーテンで区切られ、館内の中でも一段と天井の低い空間となっています。照明はベースにLEDダウンライト調光形(消費電力13.9W)を使用しており、おはなしの時間には、照度を絞って、別に設けたLEDスポットライト(消費電力6.0W)により読み聞かせの人を際立たせて、児童を集中させる手法がとられています。



中央部「くつろぎの環」にはベース照明のほか電球形蛍光灯ランプペンダントライトを設置



360Wネオセラ高天井用反射器具



書架周辺の照明



キッズパークにはLEDダウンライトとLEDスポットライトを設置



エントランスホールの照明

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
館内	高天井用反射器具電動昇降装置付	SN-4044S	52	360Wネオセラ
	LEDダウンライト	LEDD-66001ML-LS1	29	LED 消費電力:6.9W
		LEDD-70007FL-LD9	6	LED 消費電力:13.9W
		LEDD-44001ML-LS1	6	LED 消費電力:4.5W
		LEDスポットライト	LEDS85002F	1
屋外	LEDフットライト	LEDF-01009W(K)-LS1	14	LED 消費電力:0.8W
	LED軒下ダウンライト	LEDD-66901ML-LS1	17	LED 消費電力:6.9W